

高木復興大臣ぶら下がり記者会見録
(平成28年3月27日(日)16:20~16:24 於)福島県田村郡)

1. 発言要旨

よろしく申し上げます。

本日は、福島県の観光に携わっている皆さんと意見交換を行いました。また、スマイルキッズパーク、福島ガイナックスの視察を行いました。

福島県の観光に携わっている皆さんとの意見交換では、風評が厳しい中でも、四つの温泉地の若旦那が連携して、斬新な広報をするプロジェクトや、温泉熱を活用した学びの場のスタディツアー、地元食材の地産地消のおもてなし、イベントや、北関東との連携など、明るい話題もありました。アジアでの認知度もあり、福島にはもっとインバウンドを取り込む要素があるというお話がありました。

私からは、本年を東北観光復興元年として、特に福島はインバウンドに加え、教育旅行や、あるいは国内観光振興にも力強く支援したいと申し上げました。風評払拭のためには、福島の魅力に触れてもらうのが大切だと感じました。

また、スマイルキッズパークでは、子供用の室内遊び場や、屋外の運動施設を視察いたしました。原発事故の影響で遊ぶ機会の減った子供たちが自由に体を動かして遊べる場所として人気が高く、砂遊びやボール遊びに熱中する姿に、福島の再生の明るい光を感じた次第です。

また、福島ガイナックスでは原発事故の風評払拭に向けた短編アニメーションの制作を視察いたしました。福島の復興の現状をアニメで分かりやすく発信するものであって、国際的な映画祭にも是非出品していただきたいと思えます。

社員の方々とも懇談をさせていただきました。浅尾代表を初め、社員15名のうち14名が福島県出身者でありまして、若者の地元雇用も創出しているらしいです。

併設のミュージアムに是非来館いただいて、滝桜など共に福島の観光拠点に育て上げていただきたいと思えます。

世界に知られる日本のアニメで福島は楽しい場所だということを世界に発信して、原発事故の風評被害を吹き飛ばしていただきたいと思えます。以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 観光関係の今おっしゃった、支援していくということだったんですけれども、具体的に何か、どういった方向で支援していくというのは今、お考えになっていることはありますか。

(答) そうですね、まあ予算的には、来年度予算、大幅に拡充もさせていただきました。あわせて、今日、いろんなお話をお聞きいたしました。東北の広

域連携ということもうたっておりましたけれども、先ほど申し上げましたけれども、北関東との連携、そんなようなことも大事だということが分かりましたので、どうしたらとか、できるかということ。

それから、近々観光アドバイザー会議からの報告書、間もなくまとまると思いますけれども、そうしたものの中にいろいろな考えもあると思いますから、そうしたものを活用して、東北、取り分けこの非常に厳しい状況にある福島の観光について、精いっぱい支援をしていきたいというふうに考えております。

(問) ちょっと観光のことは、ずれてしまうのですが、この三春町には葛尾村の方も避難されております。4月1日から帰還に向けて役場の全機能を持つということで進んでいるんですが、その葛尾村の帰還時期について、今お考えいただく範囲内で教えていただくことはできますでしょうか。

(答) まだこれからでございます。もちろん葛尾の皆さんのお考えというようなこともございますので、まだ今、この段階でいつというような話は控えさせていただきますというふうに思います。

(以 上)